

## 編集委員会 会議録

会議の名称	第11回 編集委員会（実質的な協議の10回目）
開催日時	平成20年8月29日（木）18時35分から22時00分
開催場所	川口市 第二庁舎 地下会議室
出席者	（委員長）鈴木委員長 （副委員長）碓委員、木岡委員 （委員）池田委員、落合委員、石井（邦）委員、河合委員、森委員、小島委員、北原委員 （オブザーバー）金井部会長
会議内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「市民フォーラム」のパネリストについて</li> <li>・素案たたき台に関する意見について</li> <li>・今後の進め方について</li> </ul>
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各部会からの意見集</li> </ul>
発言内容	<p><b>■「市民フォーラム」のパネリストについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリストについて確認したい。（委員長）</li> </ul> <p>[ 各部会からパネリストの発表 ]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第1 検討部会、神尾委員</li> <li>第2 検討部会、河合委員</li> <li>第3 検討部会、鈴木委員</li> <li>第4 検討部会、碓委員</li> <li>第5 検討部会、なし</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第5 検討部会からはパネリストは出さないが、本来的には編集委員会からパネリストを出すということになっていたと思うがどうか。</li> <li>・第1 検討部会の編集委員からパネリストを出さない理由は、落合委員が当日どうしても都合がつかないこと、そして議員の私が出るよりは公募委員から出したほうが良いとの判断からである。</li> <li>・編集委員以外の委員がパネリストになっても特に問題ないと思うがどうか。</li> <li>・なお、コーディネーター（平部会長）からの質問事項は、事前にパネリストに伝えることとする。（以上、委員長）</li> </ul>

一同異議なし

#### ■素素案たたき台に関する意見について（１）

- ・ 先ずは、各部会の開催状況等をご説明いただきたい。（委員長）
- ・ 第１検討部会では、８月８日と２０日に部会を開催して素素案たたき台への意見を多数得たところである。
- ・ 第２検討部会でも８月に部会を２回開催して素素案への意見を得た。印象としては、条文化するためには提案内容を精査する必要があるという立場と、色々と追加提案を出そうという立場の両方が見られた。しかしながら、こうした立場同士で深刻な対立があったわけではない。
- ・ 第３検討部会では素素案をよくまとめてくれたと評価する意見が多かった。また、今後の進め方について、素素案から素案を作成するときは条文に近づけなければならないので、今の編集委員会でのやり方では難しいという指摘が多く出された。特に“川口らしさ”について、出そうとすればするほど専門的な観点が必要となるのではないかという意見があった。（委員長）
- ・ 第４検討部会は８月６日と２０日に部会を開催した。最初（６日）に素素案の記載内容を一つ一つ確認し、その後（２０日）検討を行った。しかし、実際にはPIの議論が多くを占めたため、各委員から後日意見を出してもらおうこととして集めた意見である。
- ・ 第５検討部会も２回開催したが、１回目はたたき台の説明し、２回目はたたき台を議論したところである。しかし、PIの議論が多く、たたき台を最後まで議論できなかった。今後の進め方については、引き続き編集委員会に素素案を検討してもらい、編集委員には部会の立場を超えて議論をしていただきたいということであった。
- ・ 内容については、少し難しい表現が多いように思うとのことであった。

#### ■今後の進め方について（１）

- ・ １２月にパブリック・コメントを行うとしたら、遅くとも１１月中旬には素案ができあがっていなければいけない計算になる。そのためには、素素案は９月中に確定しなければならない。一方では、市民フォーラムや

対話集会など PI の取組みもあり、さらに部会も素案たたき台をベースにして同時並行的に開催していくことになる。(委員長)

・編集委員会と検討部会の平行開催という話だが、素案が固まらなないと部会を開いても論点を絞った検討ができないように思う。まずは、編集委員会で素案を確定していただきたいと思うがどうか。

・素案をまとめるプロセスを委員長としてどのように考えているのか。

・色々な考え方があると思うが、編集委員会で論点ごとに方針を示してそれを事務局がその都度固めていくやり方もあれば、検討体制をよりコンパクトにして、専門家にも入ってもらい議論するやり方もあると思う。(委員長)

・今回の各部会から寄せられた意見を見ても分かるように、部会とのキャッチボールをやりすぎても、せっかく固まってきた案が元に戻ってしまうという懸念がある。議論の繰り返しにならないようにすべきだと思うがどうか。

・スケジュール自体を見直すということもあり得るかもしれない。

・部会とのキャッチボールをすること自体は重要だと思うので、後戻りしないことを大前提として進めればよいと思う。

・問題意識を確認し部会の意見を持ち寄るためには、部会とのキャッチボールは必要だと思う。後戻りもある程度仕方ないことだと思っており、民主主義に必要な時間的コストではないかと考えている。

・第2 検討部会では、市民の定義、役割、責務について拘りがあり、編集委員会での議論（たたき台）が理解されていない。それぞれには主張があるので、それを後戻りとは考えずに前向きな捉え方をすればよいと思う。民主主義のコストとして時間が必要だということも理解できる。

・編集委員会は各部会からの提案を整理し編集する場であるため、部会の意見をまとめる際には異を捨ててまとめることが必要だと思っている。そのため、部会に戻すという意見や民主主義のコストの議論については、編集委員会の役割とは少し違うのではないかと思う。今回寄せられた意

見を見ても、未だに各部会の意見に拘っているものが非常に多い。

- ・他の委員には編集委員会の 10 人が決めてしまうという懸念がある。そのためにキャッチボールが必要だということであり、例えば、編集委員会で決まった部分はその都度検討部会に投げて意見を聞く。この繰り返しによって素案を固めていけばいいと思うがどうか。
- ・いくつかのパーツに分けて固めていくやり方の前提には、全体の体系や理念を決める必要があると思う。まずは、“市民が主人公”なのか“まちづくりの主演”なのか、基本にするものを決めないと進められないと思うがどうか。
- ・ご指摘のとおり、理念がはっきりしていないとパーツもできないので、理念や体系を決めなければならない段階にきていると思う。
- ・スケジュールについては、そもそも諮問を受けた段階から目標が決まっていたので、まずはそれを遵守することが必要だと思う。従って、スケジュールの延長を前提とした議論はするべきではないと思っている。
- ・編集委員会がたたき台に対する各部会からの意見を元に素案を取りまとめていくことは、スケジュール的に難しいと思っている。まずは、編集委員会の正副委員長と事務局で素案たたき台をもっと精査し、それを次回の編集委員会で議論してはどうかと思っている。
- ・金井部会長はどうお考えか。(委員長)
- ・本日は、まず各部会の委員から提案された意見にどのようなものがあるかを確認し、情報を共有する必要があると思う。
- ・スケジュールについては、3 月議会に提案することを努力目標として、それに合わせた対応を考える必要がある。例えば、素案たたき台については、正副委員長がもっとまとめたものを次回の編集委員会に提案すれば、もっとスムーズに進められると考えられる。(以上、オブザーバー)

#### ■素々案たたき台に関する意見について（2）

[ 編集委員がそれぞれの部会の意見を発表し情報共有する ]

## ■今後の進め方について（２）

- ・ 9月8日には運営調整部会が開催され、14日には市民フォーラムが開催されるので、そこを見据えてどのように進めていくかご意見をいただきたい。（委員長）
- ・ 9月14日の市民フォーラムに素案たたき台を出すのはいいが、全体を見やすくするために、重複している部分は整理するべきだと思っている。
- ・ 部会からの指摘が多い部分についてもまとめることができると思う。
- ・ 市民フォーラムには、素案たたき台を出すということで問題ないと思う。9月中に素案を作成するという意味では急いだほうがいいと思うが、それは市民フォーラムのためということではない。さらに、素案たたき台には各部会から意見が寄せられているので、それらの意見を踏まえたものを事務局で作成し、それを編集委員会で検討してはどうかと思っている。従って、9月4日に編集委員会が予定されているが、無理に開催しないで取りまとめの作業に集中するべきだと思う。
- ・ ご指摘のとおりで、現在の素案たたき台を市民フォーラムに出すということでいいと思う。なぜならば、たたき台レベル（あまりまとまっていない）のほうが市民も意見が言いやすいと考えられるからである。
- ・ 事務局が素案たたき台を基にしたたたき台（以下「素案たたき台②」という。）を作成するのは賛成である。ただし、市民フォーラムには、素案たたき台よりも素案たたき台②を編集委員会が検討し、その結果を出したほうがいいと思っている。
- ・ 9月4日の編集委員会で進展があるかもしれないので、市民フォーラムではどちらを出すか、悩ましいところではある。（委員長）
- ・ できれば、素案たたき台②を出したいと思っている。しかし、運営調整部会では、素案たたき台を市民フォーラムに出すということでオーソライズされていたと思う。
- ・ 委員長が10分程度で素案たたき台を説明することを予定しているが、その内容を踏まえたパネルディスカッションは難しいと思う。

- ・では、事務局に次回の編集委員会（9/4）までに、各部会からの意見を一本化してもらい、それを基に編集委員会で素案たたき台の論点を潰していきたいと思うがどうか。（委員長）
- ・それよりも、各部会からの意見集を基にして事務局が素案たたき台②を作成し、それを編集委員会で検討したほうが良いと思う。
- ・事務局には、重複だけでなく内容も精査した素案たたき台②を作成してもらい、編集委員会が素案たたき台と素案たたき台②を比較して検討するという案に賛成である。
- ・第2検討部会は「協働」をテーマにしていたが、素案たたき台では「協働」の扱いが難しくなっていると感じている。それはともかく、時間がないなかでの作業となるため、進め方については、（必要な重複もあるとの意見があったが）とりあえず重複を削ること、事務局が素案たたき台②を作成することに賛成である。既に意見自体は各部会から出尽くしていると思う。
- ・事務局としてはどう考えるか。（委員長）
- ・各部会からの意見を単にまとめるだけでは意味がないと考えている。実質的に前に進んでいくためには、場合によって削る必要もあるだろう。
- ・取捨選択にはできるだけ編集委員全員の関与が必要であり、この段階で事務局に丸投げするのはどうかと思う。
- ・採用されなかった意見（削られた意見）を別にまとめておけば問題ないと思うがどうか。
- ・事務局が素案たたき台②を作成することに賛成である。採用しなかったものを別にまとめておけば、後で復活させるなどの議論が編集委員会でできるため問題ないと思うがどうか。
- ・取捨選択に関連して、賛成反対をどのように入れていくのか。例えば、編集委員会で賛成1に対して反対9の意見をどのように整理するのか。
- ・事務局が素案たたき台②を作成することは丸投げとは違うと思ってお

	<p>り、編集委員会でしっかり議論すればいいことである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なお、各部会からの意見は、項目ごとに分けて比較できるようにまとめてほしいと思う。</li> <li>・取捨選択（削る）は、事務局の作業を超えるものだと思っている。</li> <li>・いずれにしても、4日は各部会からの意見を議論したいと思う。</li> <li>・また、市の職員向けのPIを実施してはどうかと考えている。</li> <li>・さらに、たたき台については、法制担当の視点で既存条例などとの重複をご指摘いただきたいと考えている。（以上、委員長）</li> <li>・素案の段階から法制担当に関与してもらえばいいと思っている。素案までは我々（市民）の手で作成したいと思う。</li> <li>・なるべく早い段階から法制担当に関与していただくほうが、無駄な作業をしなくて済むと思う。</li> <li>・今回、素案たたき台の形が大分見えてきたと思う。</li> <li>・今後の作業において事務局への丸投げにならないように、正副委員長が一度預かってから事務局にお願いするという形がいいだろう。（以上、オブザーバー）</li> <li>・それでは、4日の進捗状況によって、正副委員長と事務局が協議して素案たたき台②を作成するという事も考えていきたい。（委員長）</li> </ul>
次回以降日程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・9月4日（木）</li> <li>・9月11日（木）</li> <li>・10月2日（木）</li> </ul>